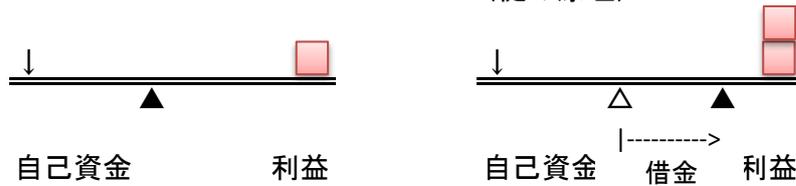


金融活動におけるレバレッジ(leverage)とB/S

leverage = 槌の作用、槌の効果

借金(=債務=負債)を使って、より多くの差益を獲得する手法

(槌の原理)



金融機関のバランスシート(B/S) = 貸借対照表

(自己資本と借金とで買った)資産評価額の一覧表(時点)

値上り益が出た場合

資産		負債/資本	
株/土地	自己資本	負債	借金
値上り	差益*	自己資本(結果)	自己資本(結果)
	*キャピタル・ゲイン	純益	**
		利払い	** レバレッジ効果

値下り損が出た場合

資産		負債/資本	
株/土地	自己資本(結果)	負債	借金
値下がり	差損*	自己資本(当初)	自己資本(当初)
	*キャピタル・ロス	利払い	自己資本の減損
		差損*	

$$\text{負債} + \text{自己資本} = \text{資産}$$

$$\text{負債} / \text{自己資本} + 1 = \text{資産} / \text{自己資本}$$

$$\text{負債} / \text{自己資本} = \text{資産} / \text{自己資本} - 1$$

負債/自己資本 が、負債比率またはレバレッジ比率

レバレッジ比率が高い企業は、値下がり率が同じでも、減損が大きい。

これが、負のレバレッジ効果

すると、今のうちにと資産の売却に走る傾向が。

→資産価格がさらに値下がりへ →資産価格の暴落へ